

子ども・子育て支援事業計画の改定に関するパブリックコメントの提出意見一覧

- 意見募集の期間 令和元年12月16日（月）～令和2年1月15日（水）
- 意見の数 55件
- 意見提出人数 10人（FAX 1人、メール9人 / 個人8人、団体2件）

4. 意見内容の概要

区分	件数
① 素案に対しての意見	17件
② 個別事業に関してや感想等その他の意見	38件
合計	55件

5. 市の対応区分

記号	対応区分	件数
○	意見を反映し、素案を修正するもの	2件
□	意見の趣旨や考え方が既に素案に盛り込まれているもの	8件
■	意見は反映させないが、今後の事業実施時等に参考とするもの	10件
▲	ご意見を反映することが困難なため、素案どおりとしたもの	0件
◆	今回のパブリックコメント対象外の内容であり、参考意見として扱うもの	35件
	合計	55件

6. 意見の内容と市の対応

6-① 素案に対しての意見

整理番号等	意見内容	対応区分	ご意見に対する考え方
1	子供・子育て・教育の問題は、子育て世代だけの問題ではなく、その教育と環境のもとで育った子供が大人になった時、我々市民全員の未来の問題だと考える。	○	ご意見の趣旨を踏まえ、計画に反映しました。
2	子ども・子育て支援について考える背景として、少子化・晩婚化・未婚化といった社会状況について説明・言及している箇所があるが、子ども・子育て支援を充実していくことが、子どもの有無にかかわらず社会全体の利益につながるというメッセージを明記したほうがよいと考える。その上で、逗子市としての子ども・子育て支援のビジョンを、担当部署や子どものいる世帯だけで共有するのではなく、まちのあり方としてとらえ直し、部署横断的に取り組んでいくことが必要ではないか。そうすることにより、個別の施策についても実現性・効率性が高まっていくと考える。例えば、ベビーカーが通りやすい歩道を整備してほしいという声があるが、子育て支援課だけで実現することができない。逗子市として「子どもを大切にすまち」というビジョンを市長以下、すべての部署で共有するとともに、プロジェクトベースのタスクチームを立ち上げ、目標を設定し、誰がいつまでに何をするかを明確にした実施計画を作成し、市民とも共働していくことが必要と考える。	○	ご意見の趣旨を踏まえ、計画に反映しました。 子ども・子育て支援事業計画は、逗子市総合計画と整合性を持った個別計画という位置づけです。今後も逗子市として子ども・子育て支援を推進してまいります。
3	全体的にアンケート結果の比較や今後の数値の予測が多く、どこが問題点なのか、具体的に何を改善していこうとしているのか分かりにくい。	■	頂いたご意見につきましては、今後計画を策定するうえで、参考にさせていただきます。
4	第1期の子ども・子育て支援事業で何がされたのか、その間の市民からの要望はどのようなものがあり、どのくらい実現したのか、それを基に第2期の支援事業が、具体的にどのように計画されているのかを知りたい。	■	計画の進行にあたっては、進捗状況を把握し、点検、評価を逗子市子ども・子育て会議において、各年度行っております。頂いたご意見を踏まえホームページ等を通して広く周知することに努めます。
5	どの計画を重要としているのか分かりにくい。予算配分について記載があってもいいのでは。インターネットでの情報収集は個人もできることなので、ポータルサイト開設に多くの予算や時間を配分するより、個人ではどうすることもできない、公共施設・道路・公園などの整備、または母や子どもたちの交流の場・機会の充実など、直接母や子どもに関わることを重要とするべきではないか。	□	ご意見の趣旨については第3章に盛り込まれており、市として課題と捉えております。予算の記載については、あくまでも計画上の見込みのため記載しておりません。

6	働く母へのサポートも必要だが、子育てを優先としている母へのサポートの充実が重要では。子どもにとっての最善は親との愛着関係の基盤づくりだと思う。ファミリーサポートセンターや、保育施設の充実など、子どもを預ける方向の充実さはもちろん受け入れていくべき要望だと思うが、まずは家庭で愛着関係をじっくりと築ける情報提供、講座開設、環境づくり、行政のサポートが、将来を見据えた子育ての上で重要になってくると思う。	□	ご意見の趣旨については、第4章に盛り込まれております。計画を策定するうえで、子どもの幸せを第一に考えるという視点を大切にまいりました。ご意見も踏まえながら計画を推進してまいります。
7	計画P.59『幼児教育・保育の質の確保』について 子どもと関わる保育者自身の幸せが、子どもの豊かな育ちにとって重要であることから、個々のワーク・ライフバランスを尊重するとともに、待遇の改善を図っていくことが、優秀な保育者の呼び込みにつながり、ひいては教育・保育への関心が高い子育て世代の移住促進にもつながると考える。	□	ご意見の趣旨については、第5章に盛り込まれております。保育士を始めとする保育の担い手の確保にあたっては、保育者自身の待遇の改善は必要と考えております。ご意見も踏まえながら計画を推進してまいります。
8	資料にもあった、遊具のある公園が少ない、歩道が狭い、などのハード面の不足の解決は、行政の力が存分に生かされるところだと思うので、ぜひ頑張ってください。	□	ご意見の趣旨については、市として課題と捉え計画に盛り込まれております。ご意見も踏まえながら計画を推進してまいります。
9	多世代との交流促進について 計画P.64に記載があるが、地域全体で子どもを見守る・育てる、という雰囲気醸成をぜひお願いしたい。子連れに優しい方も多いが、露骨に迷惑がる人もいるのが、残念ながら現実である。まずは交流の機会を増やすことから始まるかと思う。	□	ご意見の趣旨については、計画に盛り込まれております。ご意見も踏まえながら計画を推進してまいります。
10	道路や緑道などの整備について 特に逗子駅周辺では歩道が狭く、交通量も多く、子連れで危険を感じることもしばしば。長期計画になると思うが、歩道の拡充や自転車専用レーンなど、交通インフラの整備をお願いしたい。	□	ご意見の趣旨については、市として課題と捉え計画に盛り込まれております。ご意見も踏まえながら計画を推進してまいります。
11	子育て中のママがパートなどで少しだけ働ける仕事が少ない現状、新たな仕事を作る仕組み作りの模索。	■	頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
12	障がいのある子どもの受け入れ体制の充実とともに、障がいがある子どもがいるクラスの周りの子どもへのケアも必要ではないか。	■	頂いたご意見につきましては、事業を進めるうえで、今後の参考にさせていただきます。
13	計画P.66『妊娠初期から子育て期の専門職による個別相談の充実』について 子育てを担う母親等を妊娠初期から切れ目なくサポートする体制の構築は非常に重要だが、量的な充実だけでなく、質の向上も図るべきと考える。	■	頂いたご意見につきましては、「妊娠や子育ての個別相談・支援の充実」を図るうえで、今後の参考にさせていただきます。
14	現状把握のところにもあるように公園設備が老朽化していたり、保育園の待機児童が多かったり、課題も多いと思う。 高齢者と若い世代をつなげて、ボランティアとして子育て支援に参加してもらったり、空き家を子育て支援の場として活用したり、お金をあまりかけないで子育て支援のツールが広がっていくといいと思う。	■	頂いたご意見につきましては、各事業を進めるうえで、今後の参考にさせていただきます。
15	計画P.63『子育て情報の収集と発信を担う体制の整備』について 子育てポータルサイトの充実を図る際、SNS等を活用し、タイムリーな情報提供がなされることに期待したい。	■	頂いたご意見につきましては、「子育て情報の収集と効果的発信」を図るうえで、今後の参考にさせていただきます。
16	計画P.70『子どもの貧困への対応』について 現在ほっとスペースで月に一度行われている「リサイクルひろば」と連携し、状態の良い子ども用品（子ども服、おもちゃ、チャイルドシート、ベビーカーなど）を譲渡する仕組みができるとよい。	■	頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
17	【計画の具体化】 令和6年には0歳児の過不足分が0になっており、小規模保育施設で確保ということだが、どこにいつ作るかなど具体的な計画がなされていることを期待する。その他にも具体的な計画が進んでいるのであれば、明記してはどうか。	■	頂いたご意見につきましては、事業を進めるうえで、今後の参考にさせていただきます。

6-② 個別事業に関してや感想等その他の意見

整理番号等	意見内容	対応区分	ご意見に対する考え方
保育所の入所要件	18		基本目標5の仕事と子育ての両立しやすい環境の充実について、多様な働き方に対応するところがあるが、まずは保育所入所の基準を多様な働き方を想定したより平等な入所基準を設けて一から作成し直すことを要望する。安心して働きながら子育てできる街になることを望む。
	19		保育所入所要件について 同じ働くママであるのに制度上の不平等がある。 サラリーマンが優遇・優先され、フリーランス・自営業のママは謎の理由で「サラリーマンママより「楽な環境にいる」と判断されるようです。これは働き方の制限であり、改善されるべきです。土日勤務 平日休みのママへの配慮がない。許認可・無認可で兄妹ポイントがつかない事について、許認可でないとポイントが付かない事で多くの人が兄妹を別々の保育園に通わせているため改善を要求する。週5勤務のママでも、週3回勤務のママでの平等に利用できるようにすべき。
	20		【多様なニーズの把握と対応】 教育・保育の量の見込みと確保に関して年度毎の数値が出ていたが、隠れたニーズ（休職中など理由で応募以前に入所を諦めた人等）までは想定されていない印象。第6章P75に“子ども・子育て支援制度では、教育・保育の必要性の認定制度”の導入で、パートタイマーなど短時間就労の保護者のお子さんも公的保育が利用しやすくなりました”とあるが、現在のポイント制度ではフルタイム勤務でないと希望する保育所への入所は厳しい。この辺りの地域は、フルタイムでの会社勤務だけでなく、自営業やリモートワークその他多様な働き方をしている方や今後してみたい方が非常に多く、外から見た時にもそれがこの街の良さのひとつになっていると感じる。あえてこの街を選び働きながら子育てをしたい人と保育の受け入れ体制がマッチすれば、子育て世代がもっと増えてゆくのではないかと。
ふれスク	21		ふれあいスクールを土曜日再開を希望する。土曜日ならではの1日かけてのイベントも今は長期休暇時しかできず、ふれスクの魅力が半減している。
小児医療費助成事業	22		子供医療費の助成について、所得制限の判断基準が主たる生計者（所得の高い方）の所得で「世帯合算」ではないことに非常に違和感がある。また、都内や近隣では所得制限がなく医療費負担もないなど他自治体との乖離がある。
	23		小児医療費の補助が手薄である。引き上げつつあることは評価できるが、1歳から所得制限ありは、かなりシビア。せめて、病気の多い3歳（もしくは就学前）までは、所得制限を外してはどうか。これも、子育て世帯呼び込みにはマイナスポイントかと思う。保育料の基準は世帯年収（夫婦合算）なのに、小児医療費の基準は保護者のうち年収の多い方、と、基準が違うことが素朴に疑問である。
放課後児童クラブ	24		児童保育の保育料は、首都圏の平均よりもだいぶ上回っている。更に今回採用となった値上げや、市民税は高めなど、他自治体に比べて子育てのしにくさを感じる。自然が豊か、始発電車で乗車可能、といった立地からくるメリット以外、市の努力や工夫による魅力が感じられない。

放課後児童クラブ事業	25	<p>学童の利用料の月額12,000円は高額。都内から子育て世帯を呼び込みたいのなら、この料金の高さはハンデではないか。</p> <p>ふれスクの無料と学童利用料12,000円との差が大きすぎると感じる。5時にちょっと間に合わないし学童にせざるを得ないが、それで一気に高額料金が発生、というのは、少々釈然としなない。ふれスクとの一体化や、利用時間に応じて段階的な料金設定はできないものか。</p>	◆	<p>頂いたご意見につきましては、放課後児童クラブ事業を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。</p>
病児・病後児保育事業	26	<p>小児科保育事業は民間事業として成立しないからこそ自治体しかできない事業である。</p>	□	<p>ご意見の趣旨については、第6章に盛り込まれております。ご意見も踏まえながら計画を推進してまいります。</p>
	27	<p>病児・病後児保育について</p> <p>どうしても親が休めず親戚にも頼れないときの最終手段として必要だが、採算が合わず民間事業者では難しいところなので、行政で設置するべきではないか。ファミサポで始まったので、代替できるならばよいが、ファミサポの使いづらさを解消していただきたい。</p>	□	<p>ご意見の趣旨については、第6章に盛り込まれております。ご意見も踏まえながら計画を推進してまいります。</p>
	28	<p>計画P72『病児・病後児の預かり支援』について</p> <p>ファミリーサポートセンター事業における預かり支援については、支援会員の確保といった量の拡充だけでなく、現在の規則の緩和（病院への付き添い・提出書類の簡素化を条件付きで認めるなど）についても、検討がなされることを期待したい。</p>	■	<p>頂いたご意見につきましては、ファミリーサポートセンター事業を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。</p>
ファミサポ・一時預かり事業	29	<p>ファミサポの連絡方法が電話か来所のみで、非常に使いづらい。メール連絡可能にしてほしい。支援会員について、事前相談や面談も何度も行うのも大変なので、最初から複数人紹介してほしいかがか。</p>	◆	<p>頂いたご意見につきましては、ファミリーサポートセンター事業を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。</p>
	30	<p>【利用しやすい一時預かり事業】</p> <p>体調不良や残業の際の送迎など緊急時の利用需要が多いはず。一時預かり施設がない現状を踏まえるとファミサポがその担い手ですが、今のしくみでは当日利用は難しく。その日に可動できる支援会員がわかり予約できるマッチングサイト、需要が多いであろう送迎に関しては個人毎ではなく保育園毎に担当の支援会員さんを検討してもよいのではないかと。</p>	◆	<p>頂いたご意見につきましては、一時預かり事業を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。</p>
	31	<p>【利用しやすい一時預かり事業】</p> <p>一時預かり施設の検討も期待。近隣地域にはあり、逗子市はその点遅れを感じる。</p>	◆	<p>頂いたご意見につきましては、一時預かり事業を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。</p>
ハード面	32	<p>【道路の整備】</p> <p>車やトラックのすぐ横を子どもを乗せた電動自転車で行かなければならない現状は、多少強行してでも主要道路だけでも早めに整備していただきたい。</p>	◆	<p>頂いたご意見につきましては、事業を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。</p>
	33	<p>【遊び場の確保】</p> <p>とくに逗子駅近隣、逗子、新宿に少ない印象。蘆花公園のトイレ等もう少し整備されると、子連れでの活用機会が広がるのではないかと。</p>	◆	<p>頂いたご意見につきましては、事業を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。</p>
その他	34	<p>病児・病後児保育について</p> <p>自宅内で保育してもらえらるフローレンスやベビーシッター登録料の助成などがあると望ましい。（子どもを自宅から移動させずに済むので、子どもの負担にもならないし、感染機会も減らせる）</p>	◆	<p>頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。</p>
	35	<p>フルタイムで働いている母親が享受できるサービスやサポートが少なく、また声を上げにくい。フルタイムで継続して働ける女性が増えることが、市の税収増にもつながるはずなので、フルタイム勤務している母を対象としたサポートやサービスが保育所の整備以外にあってもよいのではないかと。</p>	◆	<p>頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。</p>

その他	36	子育て環境・教育の問題「地域の未来」を自治体の枠で縛って小さく考えず、広域連携の検討をお願いしたい。	◆	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。
	37	「ママ」と「仕事」と「自分自身」の3人の自分を限られた時間の中でこなす為には、何をやるにも手間と時間のかかる現在の利用制度を簡素化すべきである。ITテックの活用で手続きや利用までの時間と手間の無駄を解消できるはず。AIチャットボットの導入や、ファミサポをマッチングサイト化する案。利用者の手間暇（時間）と運営側の人件費の削減。保育施設ーファミサポー民間業者などが繋がり連携する事でママ一人一人の手間や負担が緩和するのではないか。予算として自治体単体で組めないのなら、広域事業として三浦半島自治体共同で作ってはどうか。	◆	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。
	38	公がやる苦手な点や策が講じられない部分は、無理に頑張らずに民間に委託・移譲すべきである。	◆	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。
	39	子供とお父さんお母さんが一緒に集える場所や環境作り。	◆	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。
	40	シルバー人材センターの仕事と子育てサポートが結びつかないのはなぜか。人口の3割である元氣な60歳以上の人口を活用すべきことは見るに明らかであり、現状のシルバー人材センターのあり方に疑問を呈す。	◆	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。
	41	子供・子育て事業という枠で、教育部、子育て支援課子育て支援係のみが子育て環境について考える縦割りの行政が問題。子供として生まれてから老いて亡くなるまで必ず誰しもが通る道を分断して考えるから歪みができる。こうありがたい町のビジョンが欠けており、いつまでも縦割り行政から脱却できない。	◆	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。
	42	「保育園などの子育て関係団体との市役所との連携の強化」について 保護者に、逗子市にある子育ての情報が正確に届いていない、また保育園のスタッフも情報を知らず、保護者へ情報提供できる窓口として機能できないように強く感じた。（子育て情報誌ずしのような冊子の内容）このような基本的な情報を、入園式の前後に各々の園などを会場にして、市の担当の方から説明を一齐に聞けるような会を行うのはどうかと考えた。また保育士側も一緒に参加することで、現状、知識が薄い子育て支援サービスをより良く知ることで、市との連携がとりやすくなるのではないかと感じている。各園の登降園で使うルート（できるだけ園に近いところ）に逗子市からのお知らせという掲示板を設置するのはどうか。	◆	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。
	43	保育士自身の労働環境の改善について 東京都など保育士の待遇改善が行われている中、逗子の保育士にはまだ見込みがないようだが、待遇に不満がある保育士は電車でも通うことのできる都内へ働きに行っているように感じる。逗子にて保育士を続けてこの土地でこどもたちと過ごしている方は、金銭的な待遇よりも逗子という豊かな環境の中での保育にやりがいや魅力的に感じているからだと思う。まず自治体に待遇改善を望むのではなく、私たちは、小さなことから園内での労働環境の改善をしていき、他の園とも連携して情報をシェアしながらより良い労働環境について検討していきたい。そして今後ますます人材が不足してくる保育士が逗子にて保育士に就きたいという想いにつながるように取り組んでいきたいと思っている。保育士の人材確保という言葉が多く出てきますが、保育士も子育て世代前後の方が多く、同じように仕事と子育てとの両立に悩んでいる身であることを知っていただきたい。	◆	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。
	44	子育て中の方が転居先を考えるときには、近隣の他の自治体とサービスを比較するはずなので、人口を増やしたいのであれば、わかりやすいように近隣自治体と同レベルのサービスを提供するのが有効と考える。	◆	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。
	45	道路や緑道などの整備について 幼児と歩ける緑道が少ないと感じる。逗子の海山は素晴らしいが、小さい子どもでも楽しく、ちょっとしたお散歩ができる緑道があるとありがたい。公園どうしを緑道で結ぶ、川沿いにもっと木を植えて歩きやすくするなど。	◆	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援施策を推進するうえで、今後の参考にさせていただきます。
	46	計画を拝見してまずは現状維持なのかな、と思った。	◆	今後とも子ども・子育て支援事業の推進に努めてまいります。
	47	第二期逗子市こども・子育て支援事業計画を読むと、子育て世代の現状を数で知ることができ、感謝している。また、数値ではない、リアルな保護者の方々の想いや悩みを知ることができた。	◆	今後とも子ども・子育て支援事業の推進に努めてまいります。

そ の 他	48	「子育てに関わるネットワーク会議」について、ぜひ参加していきたい。	◆	今後とも子ども・子育て支援事業の推進に努めてまいります。
	49	現在の自身の団体の活動を通して、あらたまった会議という機会だけでなく、イベントなど一緒に同じ場を作ることを通してもネットワークを生かす動きは可能だと感じている。	◆	今後とも子ども・子育て支援事業の推進に努めてまいります。
	50	逗子の豊かな自然、文化を生かした子育て環境にする。 素案の中で、要望として公園の新設や遊具の充実を望んでいる声があるとの記述があった。 せっかく逗子で山も海もある豊かな環境の中で子育てをしているようなら、自然を生かしたこともたちとの過ごし方を考えていきたい。	◆	今後とも子ども・子育て支援事業の推進に努めてまいります。
	51	街全体が子ども大人も共に育まれる豊かな環境となるように。 素案P55に、子どもたち自身もまちづくりに主体的に関わっていくことができるように様々な活動、体験の機会と環境づくりを進めます。という記載があった。 自身の活動を通して、逗子のお土産作りに参加したり、商店街の方と協力してまちづくりを行ったり、地域にとっても子どもたちにとってもとてもいい場になっていることを実感しているため、活動の認知度をあげ、サポートして下さる方にも届いたらと願っている。	◆	今後とも子ども・子育て支援事業の推進に努めてまいります。
	52	各子育て支援サービスの保護者の認識について 特に、保育園と幼稚園とこども園、放課後児童クラブとふれあいスクールなど、各施設の在り方について、保護者の方々、運営側との認識が、本来の支援サービスの在り方とずれているように感じる。 保育園においては、入園前申請のポイント制度を有利に運ばせるために必死になって子どもが産まれる前から対策をするなど、本来の入園目的とはずれている方が入園し、本当に保育が必要としている方へサービスが届いていないように感じている。	◆	今後とも子ども・子育て支援事業の推進に努めてまいります。
	53	市や国に対策を求めるだけでなく私たち自身できることから発信、改善し、より良く誰もが豊かに暮らすことのできるまちづくりについて考えていきたい。	◆	今後とも子ども・子育て支援事業の推進に努めてまいります。
	54	計画の基本的な考え方として、子どもの最善の利益のための視点が明記されていることを高く評価する。子どもたちが地域で大切にされ、今を幸せに生きていることが、将来この地域の人々がお互いを尊重し合い、幸せに暮らしていくために不可欠だと考える。	◆	今後とも子ども・子育て支援事業の推進に努めてまいります。
	55	基本理念など、全体の方向性は賛成。	◆	今後とも子ども・子育て支援事業の推進に努めてまいります。